令和２年度 早明浦ダム再生事業費等監理委員会

早明浦ダム再生事業について

令和２年８月３日

独立行政法人水資源機構

目　次

1. 事業概要 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P.1～P.5

2. 事業の進捗状況 ・・・・・・・・・・・・・・・ P.6～P.7

3. 令和元年度の実施内容 ・・・・・・・・・ P.8

4. 令和2年度の実施内容 ・・・・・・・・・ P.9

1. 事業概要

早明浦ダム

放流設備の増設イメージ

○水系河川名
吉野川水系吉野川

○場　所
右岸：高知県 土佐郡 土佐町
左岸：高知県 長岡郡 本山町

○目　的
既設：洪水調節、流水の正常な機能の維持、
かんがい用水の供給、水道用水の供給、
工業用水の供給、発電
再生：治水機能を向上させ、
吉野川の洪水による被害の軽減を図る

○諸　元
既設：堤高 106m，総貯水容量3億1,600万m^3
再生：放流設備の増設、容量振替

○工 期　平成30年度～令和10年度

○総事業費及び進捗状況

総事業費	約	400 億円
平成30年度迄執行額	約	3.0 億円
令和元年度予算額	約	3.7 億円

○令和2年度当初予算の概要【約　6.2 億円】
放流施設実施設計、施工計画検討　等

1. 事業概要

◆沿革

平成17年度　吉野川水系河川整備基本方針　策定(H17.11.18)

平成21年度　吉野川水系河川整備計画　策定(H21.8.28)

平成29年度　吉野川上流部における治水対策の計画段階評価(H29.7.3)
吉野川上流部における治水対策の計画段階評価　対応方針決定(H29.7.14)

平成30年度予算に係るダム事業の新規事業採択時評価(H29.8.10)
平成30年度予算に係るダム事業の新規事業採択時評価　対応方針決定(H29.8.29)

吉野川水系河川整備計画【変更】(H29.12.20)
吉野川水系における水資源開発基本計画(一部変更)(H30.3.27)
早明浦ダム再生事業に関する事業実施計画　認可(H30.3.30)

平成30年度　早明浦ダム再生事業着手(H30.4.1)
「平成30年度早明浦ダム再生事業費等監理委員会」設立・開催(H30.8.9)

令和　元年度　吉野川水系における水資源開発基本計画(全部変更)(H31.4.19)
「令和元年度早明浦ダム再生事業費等監理委員会」開催(R元.7.18)

令和　2年度　「令和2年度早明浦ダム再生事業費等監理委員会」開催(R2.8.3)

1. 事業概要

◆事業の目的

＜吉野川における治水事業の目標＞

①達成すべき政策目標

- 吉野川の治水安全度の向上

②具体的な達成目標（吉野川水系河川整備計画）

- 戦後最大流量を記録し、甚大な浸水被害を発生させた、平成16年10月の台風23号と同規模の洪水に対し、吉野川の氾濫による浸水被害を防止する。

＜早明浦ダム再生事業の目的（事業実施計画）＞

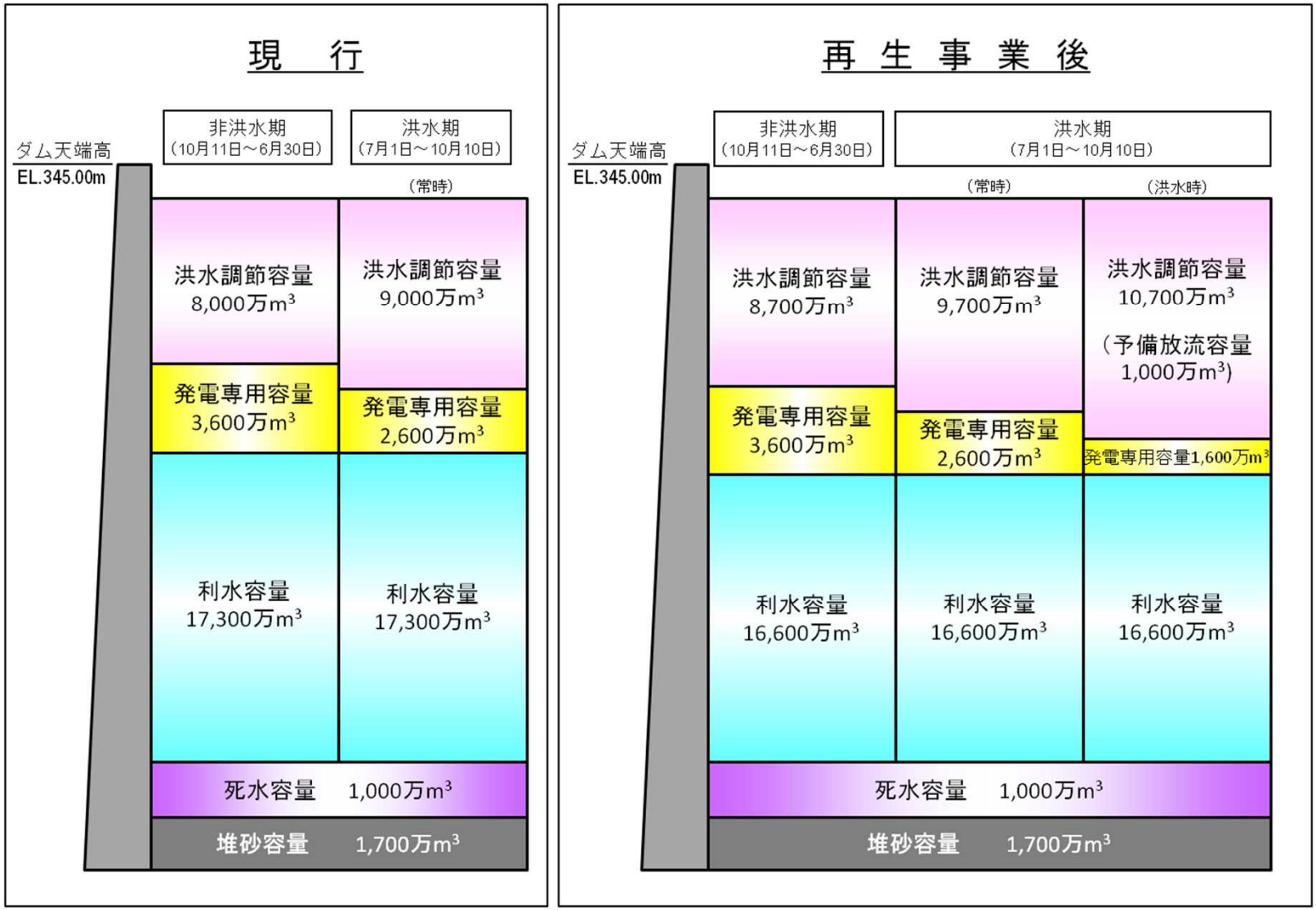
③事業の目的

- 水の安定的な供給を確保することを目的として、「吉野川水系における水資源開発基本計画」に基づき整備した特定施設である早明浦ダムについて、治水機能を向上させる改築事業を行い、吉野川の洪水による被害の軽減を図る。

1. 事業概要

◆貯水池容量配分の変更

現状の利水安全度を確保しつつ、不特定補給の運用を見直すことに伴って利水容量から洪水調節容量に振り替えることで容量を確保するとともに、予備放流方式の導入により、洪水調節容量を現行の9,000万m^3から10,700万m^3に増大。

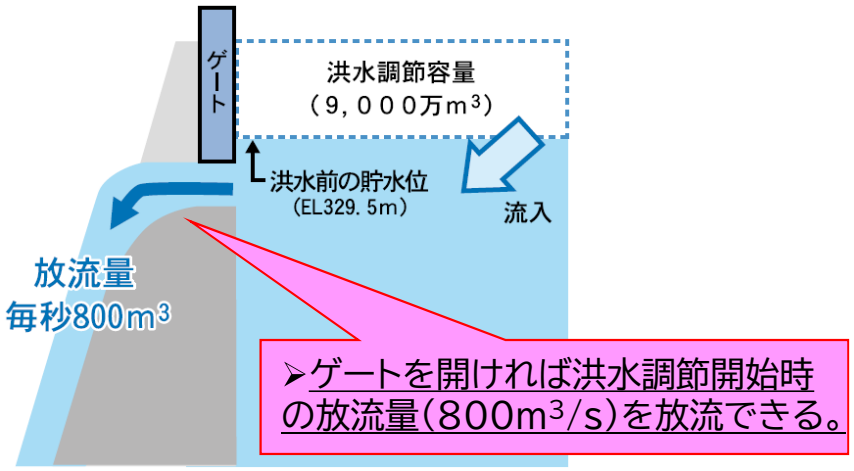


1. 事業概要

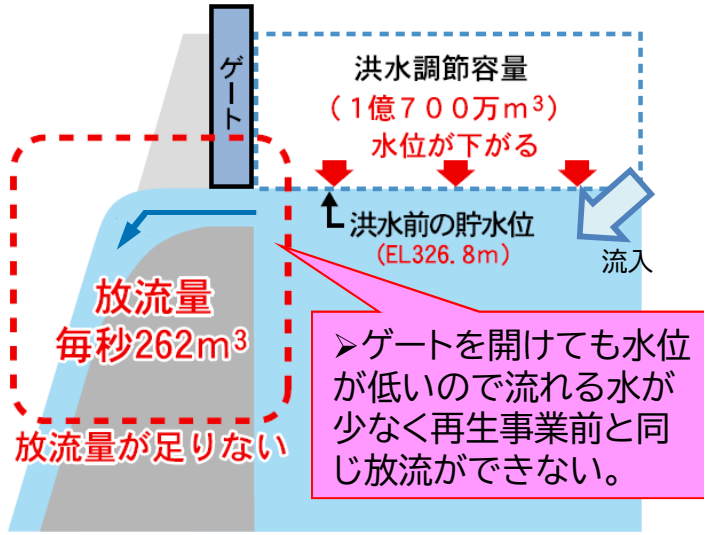
◆洪水調節能力の増強

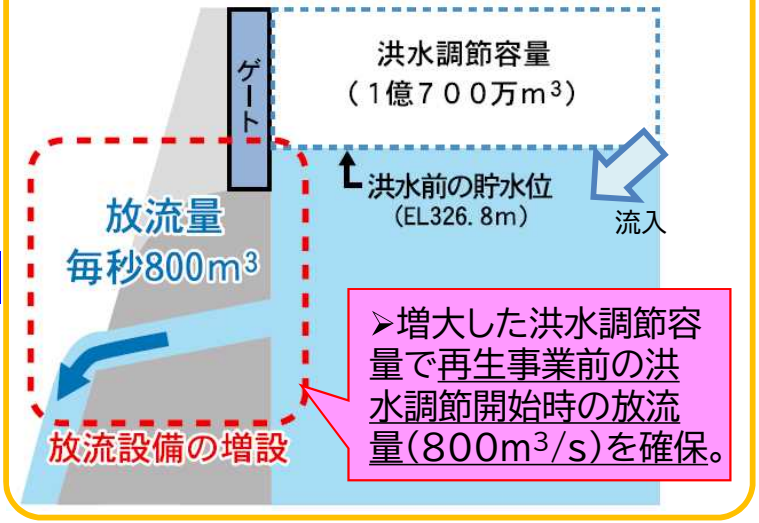
水位低下に伴って不足する放流能力を補うため放流管を増設。

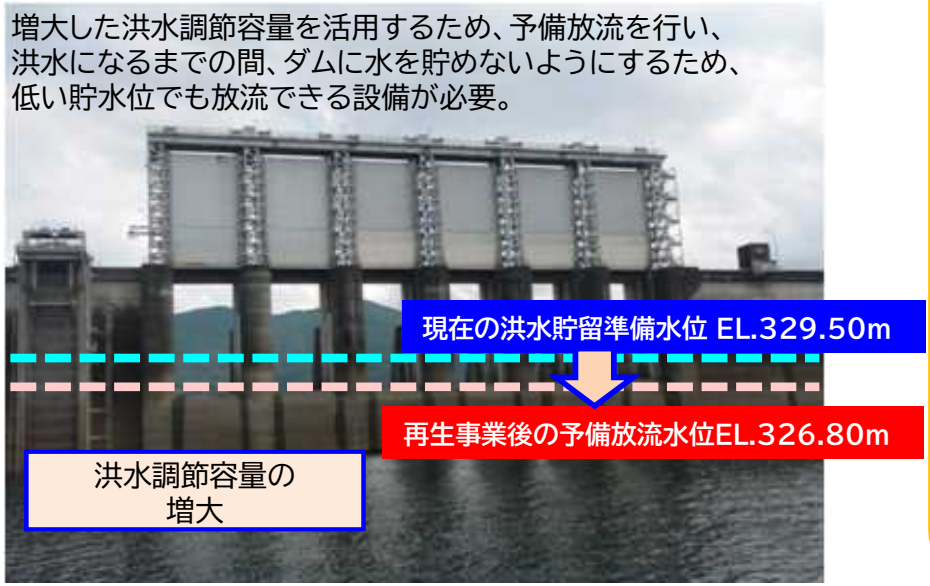
再生事業前(現状)の放流イメージ

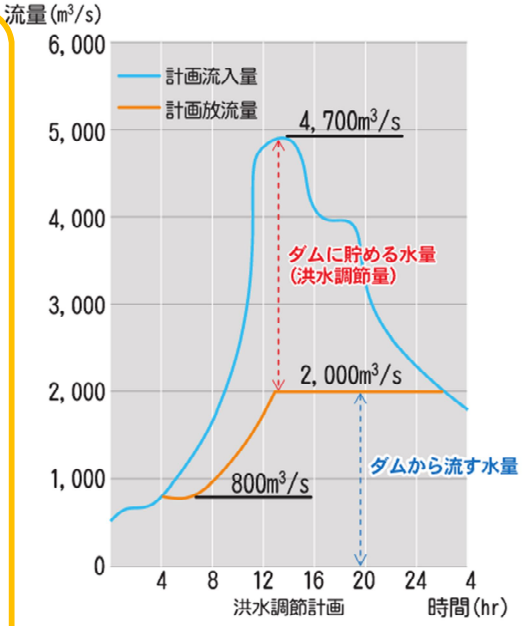


再生後の放流イメージ





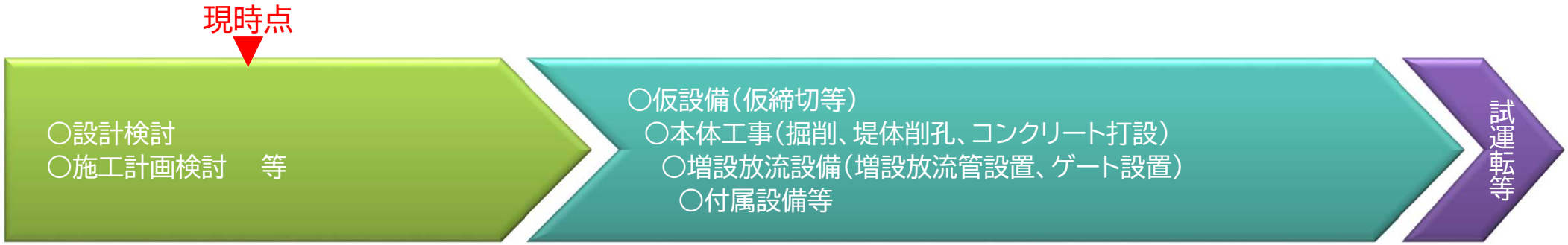




洪水調節計画図

1. 進捗状況

①実施手順



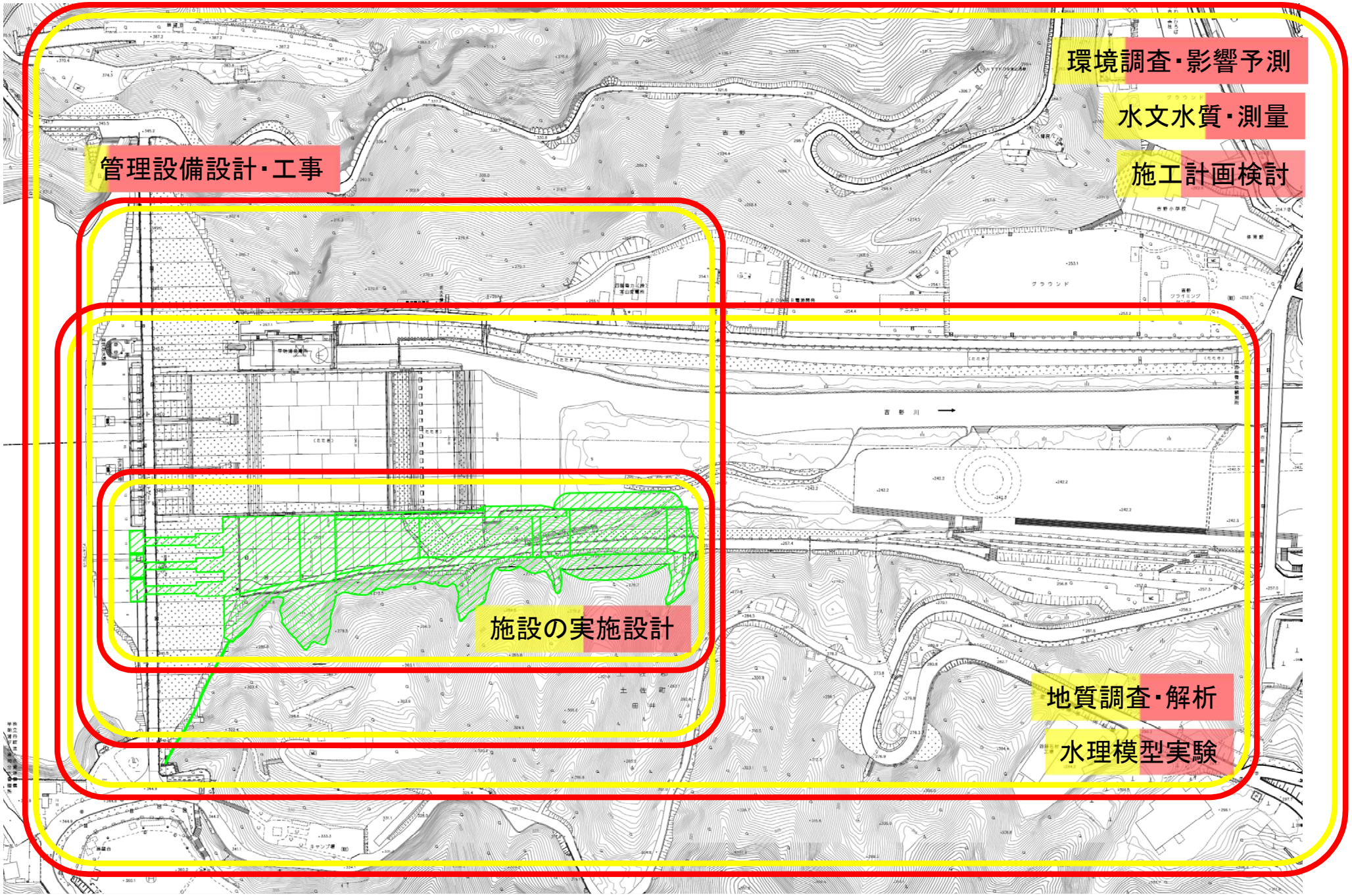
②進捗率

事業費	←1.7%（6.7億円/400億円）
測量設計	測量 / 地質調査・設計 / 施設設計・施工計画等検討 環境・水理水文調査
補償	一般・公共・特殊
本体工事 および関連工事	本体工事 （掘削 0.0%、堤体削孔 0.0%、ｺﾝｸﾘｰﾄ打設 0.0%） 増設放流設備 0.0% 付属設備等 0.0%

（令和2年3月末時点）

2.進捗状況

R1年度迄　R2年度



3. 令和元年度の実施内容

➢令和元年度事業費 ・・・ 374百万円

＜施設の実施設計および施工計画等の検討＞

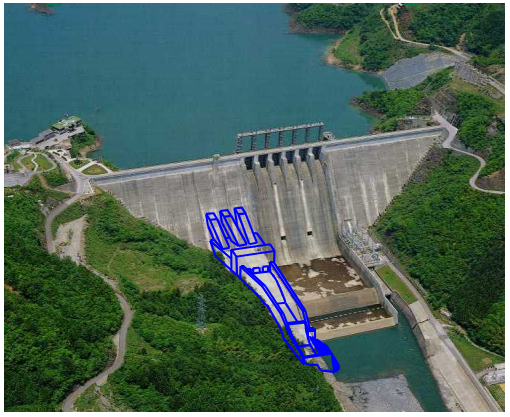
① 水理模型(全体模型)を製作し、設計案の妥当性の確認、詳細設計に必要となるデータの収集を実施した。

② 施工設備の組み合わせ、上下流仮締切の検討等を実施した。

＜地質調査など調査＞

① 設計の基礎資料とするため、増設減勢工、仮設備予定地等の地質調査を実施した。
② ダム再生に伴う工事の影響を検討するため、早明浦ダム周辺の環境調査を実施した。
③ 増設放流管を使用した場合におけるダム貯水池及び下流河川の水質予測検討を実施した。

水理模型実験



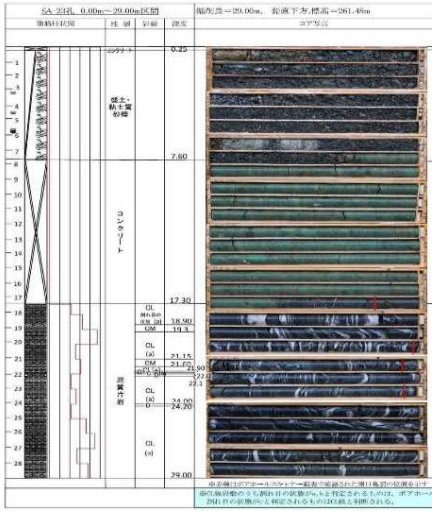
増設減勢工設置イメージ

水理模型実験状況

水理模型実験(全体模型)

地質調査

ボーリングコア確認状況



＜補償等＞

① 工事着手にあたり支障となる既設電柱・電線等について、移転補償を実施した。

4. 令和2年度の実施内容

➢令和2年度事業費 ･･･ 620百万円

＜施設の実施設計及び施工計画等の検討＞

① 水理模型(抽出)を製作し、放流能力等を確認する。
② ①を基に増設する放流施設の実施設計を実施する。
③ 仮締切や工事用道路等の仮設備を含めた工事全体の施工計画を検討する。
④ 増設する放流施設に干渉する観測設備(ﾌﾟﾗﾑﾗｲﾝ、水位計)の代替設備を設計し、設置工事に着手する。

＜地質調査など調査＞

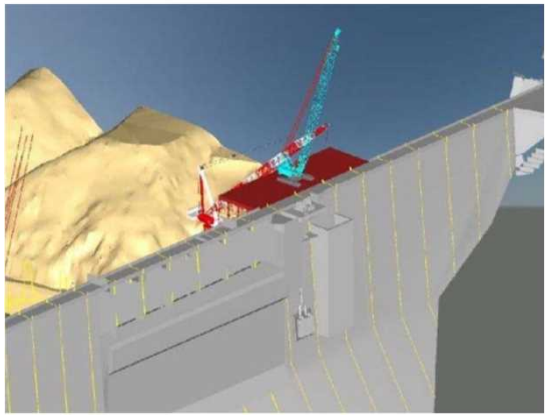
① 引き続き、地質調査(解析)、環境影響予測(補足調査含む)等を実施する。

水理模型実験

抽出模型(放流管･ゲート)

施工計画検討

上流仮締切設置状況(他ダム事例)



施工計画検討(イメージ)

観測設備設置

既設プラムライン観測器

＜補償等＞

① 事業実施に必要な土地の取得、立木補償等を実施する。
② 工事着手にあたり支障となる既設水道管について、移設補償を実施する。